

野菜の需給・価格動向レポート(平成29年1月30日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	12月の価格情報		1月		1月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量 ( ) 内は、本年と過去3カ年平均との比率	主産地	生育及び価格の2月上旬までの見通し		・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。 「図の見方」			
	指定野菜の 関東・近畿 ブロック別 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格		(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格				現時点の価格水準 平均価格		今後の価格水準			
	下旬	上旬	中旬									
葉茎菜類	キャベツ	72.93 (143%)	104	96.86 (102%)	99 (95%)	92	・8,980t (130%)	愛知(62), 千葉(17)	平均価格	愛知産は、天候に恵まれ生育は順調で、肥大も良好であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、1月の気温の低下により現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、生育は順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。		
	たまねぎ	76.91 (131%)	101	92.10 (107%)	99 (97%)	89	・3,297t (111%)	愛知(41), 兵庫(12), 大阪(10)	平均価格	愛知産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。		
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	83.77 (79%)	66	83.77 (91%)	76 (93%)	78	・7,333t (126%)	北海道(90)	平均価格	北海道産は、貯蔵物からの出荷となっており、作柄が良かったことから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。		
		83.77 (84%)	70	83.77 (88%)	74 (94%)	79	・2,876t (111%)	北海道(70), 兵庫(28)	平均価格	北海道産の出荷が、引き続き平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。		
	はくさい	240.04 (122%)	294	252.99 (137%)	347 (115%)	291	・2,400t (101%)	千葉(33), 埼玉(24), 群馬(15), 茨城(15)	平均価格	千葉産は、最近の気温の低下の影響による葉枯れが散見され、曲がり等の品質の低下もみられることが、現在平年よりやや少なめの出荷となっているものの、今後は太物の増加が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、天候に恵まれ生育は順調で太りも良好であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、天候に恵まれ生育は順調で太りも良いことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。		
		467.01 (114%)	532	473.04 (113%)	536 (89%)	423 (89%)	・209t (109%)	徳島(30), 奈良(15), 高知(15), 香川(12)	平均価格	千葉産、埼玉産、群馬産及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、平年並みに推移する見込み。		
	ほうれんそう	40.32 (201%)	81	64.18 (136%)	87 (132%)	85	・5,742t (109%)	茨城(87)	平均価格	茨城産は、実需の引きが強く前進出荷傾向だった影響や最近の気温の低下により生育が緩慢となり小玉傾向であることなどから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。		
		55.95 (175%)	98	68.70 (144%)	99 (134%)	92	・2,583t (117%)	茨城(19), 愛知(19), 兵庫(15), 和歌山(15)	平均価格	茨城産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
	レタス (結球)	385.11 (122%)	469	338.43 (134%)	452 (127%)	430	・1,043t (122%)	群馬(29), 茨城(24), 埼玉(18)	平均価格	群馬産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。埼玉産は、1月の気温の低下により生育が緩慢となり病害も散見されることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。		
		461.74 (104%)	480	375.38 (123%)	462 (123%)	463	・361t (109%)	徳島(51), 福岡(26), 群馬(9)	平均価格	群馬産及び茨城産の出荷がそれぞれ引き続き平年並み若しくは平年より多めと見込まれるもの、埼玉産の出荷も引き続き平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
果菜類	きゅうり	233.85 (79%)	185	233.85 (71%)	165 (80%)	186 (80%)	・3,393t (127%)	静岡(29), 兵庫(14), 香川(12), 長崎(12)	平均価格	静岡産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。兵庫産は、12月からの気温高による前進出荷や1月中旬の気温低下による生育遅延により、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は遅れていた分が出荷を迎えることから、平年並みの出荷の見込み。香川産は、12月からの気温高による前進出荷により、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は1月中旬以降の気温低下と干ばつ気味の影響から、平年並みの出荷の見込み。長崎産は、定植時期の天候不順の影響により、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は定植時期をずらした産地の出荷が見込まれ、平年並みの出荷の見込み。		
		226.75 (79%)	178	226.75 (71%)	162 (81%)	184 (81%)	・937t (115%)	兵庫(49), 徳島(22), 長崎(10)	平均価格	現在平年より少なめの出荷となっている兵庫産及び長崎産の出荷が平年並みに回復すると見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。		
	トマト (大玉)	349.23 (128%)	446	349.23 (109%)	381 (107%)	372	・2,649t (107%)	熊本(44), 愛知(15), 栃木(14)	平均価格	熊本産は、1月の気温の低下により着果が不安定であることに加え、着色が遅く生育が緩慢であることから、現在平年より少なめの出荷となっているものの、今後は春作の増加が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。愛知産は、9月から10月の天候不順の影響で作柄があまり良くなく、病害も散見され、早めに植え替えを行っている生産者がみられることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。栃木産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。		
		326.61 (132%)	431	326.61 (114%)	373 (107%)	350	・1,076t (121%)	熊本(73)	平均価格	熊本産が平年並み、愛知産及び栃木産の出荷がそれぞれ引き続き平年よりやや少なめ若しくは平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。		
	なす	389.03 (116%)	452	389.03 (95%)	371 (104%)	403	・684t (99%)	高知(62), 福岡(18)	平均価格	高知産は、12月以降の気温が高めに推移し、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。福岡産は、草勢は弱めであるものの、天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。		
		397.74 (111%)	443	397.74 (90%)	357 (100%)	399	・260t (108%)	高知(37), 熊本(29), 福岡(19)	平均価格	福岡産及び高知産において現在の出荷状況が続くと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		
根菜類	ピーマン	378.83 (130%)	492	578.80 (80%)	464 (80%)	545 (94%)	・496t (92%)	宮崎(52), 高知(19), 鹿児島(18)	平均価格	宮崎産は、1月の気温の低下の影響はあるものの、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。高知産は、草勢は弱めであるものの、天候に恵まれ生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。		
		371.29 (121%)	451	565.30 (67%)	377 (88%)	495 (88%)	・242t (80%)	宮崎(48), 高知(23), 鹿児島(14)	平均価格	宮崎産及び高知産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。		
	だいこん	67.55 (127%)	86	79.03 (105%)	83 (87%)	69 (87%)	・6,566t (120%)	神奈川(49), 千葉(42)	平均価格	神奈川産は、天候に恵まれ生育は順調で太りも良いことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、12月は気温が高めに推移し、天候に恵まれ生育は順調で太りも良いことから、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は作の切り替えによる端境を迎えることから、平年並みの出荷の見込み。		
	にんじん	105.86 (131%)	139	111.16 (123%)	137 (125%)	139 (125%)	・3,898t (88%)	千葉(86)	平均価格	千葉産は、天候に恵まれ生育は順調で太りも良いものの、播種期の台風等による苗の流亡の影響から、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。		
		104.49 (137%)	143	109.97 (108%)	119 (112%)	123 (112%)	・1,274t (99%)	鹿児島(41), 長崎(40), 鳥取(10)	平均価格	千葉産の出荷が引き続き平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。		

注: 1 平均価格は、過去6カ年(平成20~25年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。  
2 句別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して15%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業者が発売するとは限らないため、あくまで参考である。  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアで平成27年実績である。  
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したもの。

## 1 主要野菜の生産出荷状況

種類	12月の価格情報		1月		主産地	生育及び価格の2月上旬までの見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロックの(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	1月中旬の関東及び近畿ブロックの入荷量	指定期別平均販売価額		「図の見方」		
	下旬	上旬	中旬	内は、本年と過去3カ年平均値との比率		現時点の価格水準	今後の価格水準	
いも類	さといも	220.97 (130%)	287 228.85 (106%)	242 (99%)	226 · 313t (129%)	埼玉 (40), 千葉 (29)		埼玉産は、貯蔵物からの計画的な出荷となっており、作柄が良かったことから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。千葉産は、計画的出荷ではあるが、年明け後も高い需要が続き、現在平年より多めの出荷となっているものの、今後は需要も落ち着くと見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。
	ばれいしょ	217.56 (135%)	294 219.65 (128%)	282 (108%)	237 · 119t (102%)	愛媛 (65), 熊本 (15)		埼玉産の出荷が引き続き平年より多めと見込まれ、千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。
	ばれいしょ	96.99 (178%)	174 96.99 (186%)	180 (186%)	180 · 3,553t (79%)	北海道 (61), 長崎 (29)		北海道産は、貯蔵物からの計画的な出荷となっており、8月末の台風による大雨の影響などで歩留まりが低下しており、肥大もあり良くないことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。長崎産は、8月から9月の定植時の天候不順により小玉傾向となっていることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。
	ばれいしょ	96.99 (169%)	164 (178%)	96.99 (179%)	171 (179%)	174 · 1,271t (83%)		北海道産及び長崎産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。

注：1 平均価格は、過去6カ年（平成20～25年）の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く）で、保証基準額の算定の基となる価格。

2 別別平均販売価額の赤字及び背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（）内は入荷シェアで平成27年実績である。

5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したもの。

## 1 主要野菜の生産出荷状況（特定野菜）

種類	1月の価格情報		1月		主産地	生育及び価格の2月上旬までの見通し		
	(参考)過去5カ年平均価格	東京・大阪市場の別別価格	東京・大阪市場の別別価格	1月中旬の東京及び大阪市場の入荷量	(参考)過去5カ年平均価格	「図の見方」		
	下旬	上旬	中旬	内は、本年と過去3カ年平均値との比率	現時点の価格水準	今後の価格水準		
洋菜類	ブロッコリー	297.74 (122%)	362 385.82 (78%)	425 (110%)	· 706t (116%)	愛知 (35), 香川 (21), 埼玉 (14)		愛知産は、気温の低下により生育が緩慢となる時期ではあるものの、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。香川産は、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、11月の降雪などにより品質の低下がみられるものの、1月中旬の気温の低下により生育が遅れていた分が出荷を迎えていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。
	ブロッコリー	340.20 (101%)	342 417.58 (69%)	427 (102%)	· 216t (112%)	徳島 (35), 鳥取 (13), 長崎 (11)		愛知産、香川産及び埼玉産において現在の出荷状況が続くと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
根菜類	ごぼう	272.73 (166%)	452 318.13 (170%)	540 (138%)	440 · 237t (111%)	青森 (65), 茨城 (16)		青森産は、12月に収穫が終り、現在貯蔵物からの出荷となっているが、8月末の台風の影響により損傷や茎の折れ等が発生し、細物や短物が多く、曲がりも見られることから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。
	ごぼう	185.34 (202%)	374 188.58 (154%)	291 (154%)	290 · 212t (123%)	茨城 (45), 青森 (20)		青森産の出荷が少なめと見込まれることから、現在平年を上回っているの価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
果菜類	かぶ	118.03 (127%)	150 152.86 (109%)	166 (88%)	135 · 446t (117%)	千葉 (86)		千葉産は、小玉傾向ではあるものの、天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。
	かぶ	129.00 (133%)	172 137.79 (125%)	172 (91%)	126 · 117t (118%)	徳島 (41), 福岡 (28), 石川 (16)		千葉産において現在の出荷状況が続くと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。

注：1 平均価格は、過去5カ年（平成23～27年）の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。1月は平成24～28年。

2 別別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。

3 別別価格の赤字及び背景は、平均価格と比較して150%以上のもの。太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。

4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（）内は入荷シェアで平成27年実績である。

## 2 トピック ー はくさいの需給動向について ー

